

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	明石市立 松が丘小学校	研究チーム名 (松小算数研究会)
	職・氏名 教諭 内田 淳	

研究テーマ分類番号 (1)

(1)研究テーマ
自ら考え、共に学ぶ算数の時間 ～算数的活動を活かした授業づくり～
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>4月16日 研究の方向性についての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所及び人数：松が丘小会議室 6人 ・実施成果：多用な考え方を出し合い、どの子ども活躍できる場が1時間の中でどこかにある授業の創造をめざすことを共通理解する。テーマを決定する。 <p>6月16日 各自の取組の報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所及び人数：松が丘小会議室 6人 ・成果と課題：1年から6年までの算数的活動の効果的な指導について、資料をもとに共通理解ができた。また、各自が購入している算数参考文献を紹介することにより、幅広い文献研究ができることになった。文献研究については、各自が夏季休業中に行うこととした。授業研究については、低・中・高の3回行うことを決定したが、指導案のひな形については今後に戻すことになった。 <p>8月26日 講師招聘による研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所及び人数：松が丘小会議室 11人(松小職員の参加希望者含む) ・実施成果：甲南女子大学教授を招聘して「新学習指導要領(算数科)」の解説とグループの研究について、資料をもとに講義及び指導助言をしていただいた。新しい教育課程のキーワードについて具体例を挙げながら、筋道だったとでもわかりやすいものだったので、実のある研修になった。また、授業づくりに向けていい刺激を与えていただけた。 <p>9月22日 授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所及び人数：松が丘小6年1組 9人(参加希望者含む) ・成果と課題：市教委の指導主事を講師招聘し実施。本時は、「変わり方のきまりをみつけて(1)」1/2時間で「出会い算」の問題であった。授業は導入に時間をかけすぎたために算数的活動の中心部分に行くまでに終わってしまい残念だったが、事後研究会で講師から今回の算数的活動の効果的な指導について助言をいただき、よい提案授業となった。今後は、今回の授業研究を生かし、研究を進める意識が高まった。 <p>10月27日 授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施場所及び人数：松が丘小2年2組 9人(参加希望者含む) ・成果と課題：今回の単元「水のかさをしらべよう」では、新しく身につけたリットルやデシリットルを既習事項として活用する発展内容の問題を行った。児童に既習事項がよく身につけていたため、どの児童も生き生きと算数的活動ができた。また、かさを計る作業を2人組でさせたので、協力して取り組むことの楽しさも体験させることができた。ただ、課題が2年生としては難しすぎたため、学習のまとめでは「よそうは、はずれたが楽しかった。」と書くものがほとんどであった。今回はボール(103dl) すいとろ(10) バット(107dl)の3つの入れものの水のかさ調べを行ったが、入れものの形と量感の不思議さには気づかせられなかった。毎時間、「やった！できた！わかった！」という体験ができる授業を多くすることが研究テーマにつながるとの意見があった。